

人間共生学部 主要科目の特長、科目群ごとの目標等

学部基盤科目

学部基盤科目には、人間共生とコミュニケーション及びデザインとの関連性を理解すること、さらに学内外での学びの基礎として「人間共生論入門」「共生とコミュニケーション」「共生とデザイン」「クリティカル・シンキング」「社会調査法」「社会調査演習」「プロジェクト・マネジメントⅠ」「プロジェクト・マネジメントⅡ」の8科目を配置する。

なお、学部基盤科目は、人間共生学部での学修の基礎になる「人間共生」に関わる概念や諸問題について、2学科の専任教員から各自の専門分野を通して理解することを目的として、1年次に「人間共生論入門」を必修科目として配置する。

プロジェクト科目

学内での学びだけでなく、学内の学びの成果や学外での調査、体験等を有機的に結びつける実践的な科目として、コミュニケーション学科の専任教員、または、共生デザイン学科の専任教員が担当する、プロジェクト科目、「コミュニケーション・プロジェクト1～14」及び「デザイン・プロジェクト1～16」までの30科目を3年次に配置する。なお、このプロジェクト科目は、実践的に学修することを目的としていることから、学生は所属学科に関わらず、科目を選択し履修することができることとしている

共通科目

主要科目の特長

「教養ゼミナール」

学科別に少人数（10名前後）クラスで専任教員の指導のもと、基礎的な文献の扱い、日本語の文章能力、レポートの書き方、プレゼンテーション能力など、大学での修学に必要な基礎的スキルおよび姿勢を身につける。

「コンピュータ・リテラシー」

実際にコンピュータを操作しながら、4年間の大学生活に必要なコンピュータ・リテラシーを養成する。電子メールの利用、インターネットを利用したの情報検索、文書作成能力、表計算活用能力および関連する基礎知識、マナーを身につける。

科目群ごとの目標等

〔教養・総合分野〕

「教養ゼミナール」「キリスト教分野」「人文分野」「社会分野」「自然分野」「生活芸術分野」「キャリアデザイン分野」で編成される。「教養ゼミナール」では少人数クラス（10～15名程度）で専任教員の指導のもと、大学での修学に必要な基礎的スキルおよび姿勢を身につける。「キリスト教分野」では、キリスト教の歴史や文化を学ぶとともに、本学院の基

盤である「建学の精神」について理解を深める。「人文分野」「社会分野」「自然分野」では幅広くかつ深い教養や総合的な判断力を培い、「生活芸術分野」では日本の伝統文化や芸術を体験する。「キャリアデザイン分野」では在学中から卒業後を見据えたキャリア設計をおこない就職活動にも必要となる社会人としてのスキルを身につける。

〔コンピュータ・リテラシー分野〕

今日の情報社会では欠かせない基礎的な情報処理技術やネットワーク社会でのルールとマナーを修得する。

〔外国語分野〕

実践英語を中心とした科目を開設するとともに、学生の興味にあわせドイツ語、フランス語、中国語、ハングルを選択履修できるよう配慮している。英語は、コミュニケーション（会話）を中心に、聞く能力、話す能力など、分野別に6段階のレベル構成となっており、無理なくステップアップしながら実力を身につけることができる。

〔保健体育分野〕

健康は自らの努力により積極的に創り出すものと考え、生涯にわたって健やかな身体を保持し、健康で豊かに生きるためにどうすればよいのかを考え、実践する。

コミュニケーション学科専門科目

主要科目の特長

「コミュニケーション入門」

コミュニケーションとは何か、について学ぶために、1年次春学期に必修科目として学科専任教員全員によるオムニバス方式で行う。

「ロジカル・ライティング」

書き手の思い込みによる一方的な文章ではなく、書いた内容が的確に取り出され、解釈されるように書くために、文章をどのように書くかの型や、文章を書く上で注意すべきことを学ぶ。また、実際に文章を書いて互いに読みながらブラッシュアップしていく演習形式も取り入れる。

「ビジネス・プレゼンテーション」

ビジネス社会のプレゼンテーション基礎知識を習得した上で、プレゼンテーション・ソフトを活用し、演習課題を遂行することによって、自分の主張や考え、テクニック、そして個性を融合させたプレゼンテーションの総合的能力を身につける。

「上級プレゼンテーション」

さまざまな対象に対して、より説得力のある魅力的なプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。論理的な話の流れの組み立て方、図表や写真の使い方、また適切なデ

一タの見せ方といったプレゼンテーション資料の作り方に加え、それをどのように話すことで相手に伝えていくかを実践しつつ学んでいく。

領域・分野ごとの目標等

〔メディア・コミュニケーション領域〕

様々なメディアを利用した表現技術やメディアを通してのジャーナリズムに関する知識に加え、メディア活用に必要な情報リテラシーや情報通信技術に関する知識や技能、情報通信技術を社会基盤や新ビジネスに活かすための知識を身に付けることを目的とする。

〔ビジネス心理・コミュニケーション領域〕

企業などの組織における人間関係や消費者心理を応用したビジネス、特にコミュニケーションが重要視されるホスピタリティ産業に関する知識の習得を目的とする。また、学生が自身のキャリアデザインを考える科目群も含む。

〔グローバル・コミュニケーション領域〕

グローバル・コミュニケーション領域では、コミュニケーションの基礎となる日本語、英語、中国語の言語活用能力と各言語を使用している社会の文化に関する知識習得を目的とする。

〔共生コミュニティ分野〕

人間共生学部を構成するコミュニケーション学科と共生デザイン学科の専門性を融合し、共生時代のコミュニティリーダーの養成を目指した6科目構成となっている。

〔総合分野〕

ゼミナール科目として、4科目を2年次秋から4年次秋学期まで配置し、段階的に学修できるようにしている。この4科目に加え、これまでの学修、特にゼミナールやプロジェクト科目で培われた、問い、探求したいテーマについて、卒業論文等の制作を行う「卒業研究」（4年次通年）を配置している。

共生デザイン学科専門科目

主要科目の特長

「共生デザイン入門」

デザインに対する有形・無形の様々な捉え方を学ぶために、1年次春学期に必修科目として、学科専任教員全員によるオムニバス方式で行う。

「神奈川学」

大学が立地する神奈川を対象に、地域を知り、地域を見直し、地域の持つ資源を総合的に把握することによって、地域の新しい価値を創造するための知見を得る方策を学ぶ。

「市民協働と合意形成」

共生デザインにおいて、自然・環境との共生や多様な文化・価値観との共生を実現する

ために必要な、市民を主体とする協働と合意形成についての知識と技術を学ぶ。ワークショップやコンセンサス会議などに参加・見学あるいは模擬的に授業時間内で実施することを通じて、様々な合意形成の手法の特徴や課題についても体験的に学ぶ。

「プレゼンテーションの技術」

様々な場面で必要とされるプレゼンテーション能力。その基本となる技術を学ぶことを目的とした表現能力や技術を学ぶ。また、プレゼンテーションの準備として必要なリサーチやプランニングの方法も演習を通して学ぶ。

領域・分野ごとの目標等

〔デザイン構想領域〕

デザイン構想領域での知識や企画立案の手法に関する科目は、具体的な表現手法を学ぶ「デザイン表現領域」と連動しながら、デザインに関する問題解決の力を獲得することを目的とする。

〔デザイン表現領域〕

デザインに関わる知識や企画立案の手法を学ぶ「デザイン構想領域」と連動しながら、デザインに関する問題解決の力を獲得することを目的とする。

〔共生コミュニティ分野〕

人間共生学部を構成するコミュニケーション学科と共生デザイン学科の専門性を融合し、共生時代のコミュニティリーダーの養成を目指した6科目構成となっている。

〔総合分野〕

ゼミナール科目として、4科目を2年次秋から4年次秋学期まで配置し、段階的に学修できるようにしている。この4科目に加え、これまでの学修、特にゼミナールやプロジェクト科目で培われた、問い、探求したいテーマについて、卒業論文等の制作を行う「卒業研究」（4年次通年）を配置している。

コミュニケーション学科 履修順序表 (2016年度以降入学生用)

1年次		2年次		3年次		4年次							
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター						
<学部基盤科目> (2単位必修)													
人間共生論入門	共生とコミュニケーション 共生とデザイン クリティカル・シンキング	社会調査法	社会調査演習 プロジェクト ・マネジメントI		プロジェクト ・マネジメントII								
<学科基礎科目> (2単位必修)				<プロジェクト科目> (2単位必修)									
コミュニケーション入門				<table border="1"> <tr> <td>コミュニケーション ・プロジェクト1~2</td> <td>コミュニケーション ・プロジェクト3</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション ・プロジェクト4-14</td> <td>デザイン</td> </tr> <tr> <td>デザイン ・プロジェクト1~14</td> <td>プロジェクト15~16</td> </tr> </table>				コミュニケーション ・プロジェクト1~2	コミュニケーション ・プロジェクト3	コミュニケーション ・プロジェクト4-14	デザイン	デザイン ・プロジェクト1~14	プロジェクト15~16
コミュニケーション ・プロジェクト1~2	コミュニケーション ・プロジェクト3												
コミュニケーション ・プロジェクト4-14	デザイン												
デザイン ・プロジェクト1~14	プロジェクト15~16												
(4単位以上)													
統計の基礎 I	ロジカル・ライティング 統計の基礎 II	インターネット英語	ビジネス・プレゼンテーション		上級プレゼンテーション								
<メディア・コミュニケーション領域> (4単位以上)													
言語・身体・メディア ・コミュニケーション マス・コミュニケーション 社会情報論 ネット・コミュニケーション メディアの歴史	映像コミュニケーション ジャーナリズム論 ソーシャル・メディア アルゴリズム演習 情報システム	ロボット・コミュニケーション インターネットとジャーナリズム インターネット・ビジネス 行政システム論 インターネットと情報発信 プログラミング基礎 データ分析	ニュースメディア論 経営情報システム論 情報倫理 プログラミング応用 インターフェイス論		地域メディア ・コミュニケーション ネット・コミュニケーション戦略 情報技術論 リスク・コミュニケーション 情報セキュリティ 情報システム・プロジェクト・ マネジメント	コンテンツ ・マーケティング 情報と政策							
<ビジネス心理・コミュニケーション領域> (4単位以上)													
心理学の理解 消費者心理とマーケティング ホスピタリティ事業 キャリア・デザイン I	ビジネス・マネジメント 社会心理学 対人コミュニケーション ブランド論 キャリア・デザイン II	財務管理論 ビジネス・リーダーシップ入門 人間関係の心理学 心理学のための データ処理 ビジネス心理基礎 広告論 ホテル事業 キャリア・デザイン III	ビジネス関連法規 集団行動の心理学 組織コミュニケーション 職場環境の心理学 観光事業		企業分析 ビジネス統計シミュレーション 人間関係づくり演習 組織行動の心理学 産業心理学 キャリア形成	ベンチャービジネス論	起業論						
<グローバル・コミュニケーション領域> (4単位以上)													
映画で学ぶ アフリカ文化 English Expression I 英語 I	英語圏の生活と文化 English Expression II 英語 II 中国語圏の生活と文化 パブリック・スピーキング	英語圏の文学 Communicative Skills in English 資格英語 I 中級中国語 I 異文化間コミュニケーション ジャーナリストの技術	English Presentation 資格英語 II 中級中国語 II 留学準備クラス メディア報道分析 アナウンス・ナレーション技術		English Discussion 上級資格英語 上級中国語 若者文化論 Japanese Economy	資格中国語 Japanese Politics							
<共生コミュニティ分野>													
		NPOの経営 ソーシャルビジネス	リーダーシップ論 共生の経済		コミュニティと政策 グローバル共生論								
<総合分野>													
ゼミナール I				ゼミナール II		ゼミナール III ゼミナール IV 卒業研究							

共生デザイン学科 履修順序表 (2016年度以降入学生用)

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
<学部基礎科目> (2単位必修) (4単位以上)							
人間共生論入門	共生とコミュニケーション 共生とデザイン クリエイティブ・シンキング	社会調査法	社会調査演習 プロジェクト ・マネジメントI		プロジェクト ・マネジメントII		
				<プロジェクト科目> (2単位必修)			
				コミュニケーション ・プロジェクト1～2 コミュニケーション ・プロジェクト4～14 デザイン ・プロジェクト1～14	コミュニケーション ・プロジェクト3		
<学科基礎科目> (2単位必修)							
共生デザイン入門 (2単位以上)							
	神奈川学	プレゼンテーションの技術	市民協働と合意形成				
<デザイン構想領域> (6単位以上)							
近代生活文化史 社会生活学入門 消費者心理とマーケティング エコロジカルデザイン 自然共生社会論	デザインの歴史 モダニズムの歴史 ライフデザイン論 住まいの生活文化史 デザインの心理 ブランド論 デザインの企画論 自然共生デザイン論 自然共生デザイン演習 コミュニティデザイン論 居住環境の 共生デザイン	消費社会のデザイン 写真映像史 エバーサイルデザインと 現代社会 衣の生活文化史 環境と心理 広告論 デザインプロデュース論 新エネルギー企画論 コミュニティデザイン演習 地域遺産マネジメント サステイナブルデザイン	食の生活文化史 都市生活デザイン論 アートと社会 デザインのための心理調査 デザインプロデュース演習 コミュニティビジネス論		若者文化論 美術とモード デザインマネジメント論 未利用資源論 エコビジネス	コネクティブ・マーケティング	
<デザイン表現領域> (6単位以上)							
基礎デザイン演習 メディア表現論 映像の構成と表現 住まいのデザイン 空間・インテリアデザイン 演習基礎	デザイン表現技術 デザイン表現論 CAD I 色彩デザイン学 映像・画像処理論 環境アログ外実験演習 インテリアのデザイン 空間・インテリアデザイン演習I	Webデザイン演習 写真表現技術 CAD II メディア表現演習 映像制作演習 映像の創作と表現 企画と制作 視覚伝達デザイン演習 デザイントレンド インテリアの環境デザイン 空間・インテリアデザイン 演習II 力とかたち 材料と構法のデザイン	3DCG演習 エレクトロニクスデザイン 映像制作応用 コンピュータミュージック アニメーション制作演習 デジタルデザイン演習I リサイクルデザイン論 家具デザイン 空間・インテリアデザイン 演習III 構造のデザイン インテリアコーディング 照明のデザイン		デジタルデザイン演習II メディア論 空間・インテリアデザイン 演習IV 空間・インテリア施工 居住環境の法規		
<共生コミュニティ分野>							
NPOの経営 ソーシャルビジネス		リーダシップ論 共生の経済			コミュニティと政策 グローバル共生論		
<総合分野>							
ゼミナールI				ゼミナールII		ゼミナールIII	ゼミナールIV
卒業研究							